

教育研究データ			
1. 氏名	山口大貴		
2. 生年月	1993年 12月 1日		
3. 取得学位	博士（健康科学）		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	令和年 4月	パワーポイントを用いて、図や表を多く取り入れた、見やすい講義用スライドを作成した。また、スライドを印刷し、講義資料として提供した。	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	令和4年 6月	広島市立沼田高等学校 模擬講義	
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行 の 年月	発行所
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行 の 年月	掲載紙および巻/号, 頁
①ラットにおけるプロピオン酸経口投与による血中ケトン体濃度低下作用（査読付き）	共著（F A）	令和 2年 12月	川崎医療福祉学会誌 和文誌 30 巻 1号 189-199 頁
②『Recommendation for higher energy and protein intake for match days compared with training days in Japanese male senior high school soccer players』（査読付き）	共著（F A）	令和 3年4 月	Football Science 18 pp.31-42
③『Measurement of changes in CO ₂ generated from propionate in Caenorhabditis elegans using novel ¹³ C ₂ gas analysis』（査読付き）	共著（F A）	令和 4年4 月	Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry 86(7) pp. 884-894
④『機能性糖質甘味料が焼き菓子の性状に与える影響』	共著（F A）	令和 5年1 0月	広島文教食物栄養研究会誌 第41号 pp. 2-7

(3) 研究・作品発表	発表の年月	発表学会等
プロピオン酸とケトン体が <i>C. elegans</i> の寿命に及ぼす影響	令和1年11月2日	日本食物繊維学会第24回学術集会 北海道
機能性糖質甘味料がプリンの性状に及ぼす影響	令和5年2月25日	第30回 広島県栄養改善学会
(4) 所属学会		
①日本栄養食糧学会		
②日本栄養改善学会		
③日本食物繊維学会		
④川崎医療福祉学会		